

「第4回利用団体のための体験活動研修会」

1. 趣旨

国立赤城青少年交流の家を利用する団体の引率者が、施設の利用方法や登山活動の内容を理解するとともに、実際に登山を体験する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和元年7月15日（月）

(2) 参加者

①参加対象 令和元年度利用団体（主に8～10月）で、活動プログラムの体験を希望する各団体の引率者

②参加人数 4名（4校）

③参加者の内訳 小学校1名、中学校3名

3. 企画運営のポイント

- ・実際に登山を児童・生徒と同じように体験することで、登山指導のポイントなどを理解し、当日安全に活動が進められるようにする。
- ・施設見学では、施設の場所だけではなく、ガイドブックには記載していない情報などを伝える。
- ・参加する各学校に、事前に質問事項を出してもらうことで、当日の質疑応答の時間を有効に使えるようにする。（基本的なことの共通理解を図る）

4. 日程

| | 午前 | 午後 |
|--------------|--|-----------------|
| 7月15日 （月） | 開会行事 施設見学 施設利用説明 質疑応答 登山体験 | 登山体験 プログラム相談 |

5. 主な活動内容



「施設見学」



「施設利用説明」



「バス内（登山の説明）」



「登山（登り）」



「登山（山頂）」



「登山（下り）」

6. 成果と課題

（1）参加者アンケート結果（10名回収）

満足4名（100%） やや満足0名 やや不満0名 不満0名

（2）参加者の声

- ・登り方の注意やアドバイスを頂き、大変参考になりました。
- ・天候状況が雨・霧等であった為、とてもよいシミュレーションとなりました。登山前、登山、下山、下山中、下山後と具体的にアドバイスを頂き、大変よい研修となりました。
- ・少人数は残念であったかもしれませんが、わたしにとってみれば質問等しやすい状況であったため、実り多き研修となりました。
- ・今後の参考になりました。とても分かりやすく丁寧にご指導いただき、ありがとうございました。

（3）成果

- ①参加した先生方に登山体験をしてもらうことで、実際の場所で指導のポイント（危険箇所、休憩場所等）を説明することができ、登山活動時の留意点を理解してもらえることができた。
- ②施設見学では、少人数であることで、多くの質問に答えることができ、丁寧に説明することができた。
- ③施設利用について、動画を活用して全体で一斉に説明することで、参加した先生方の共通理解を図ることができた。

（4）課題

- ①実施日を調査したところ、休日が1名、平日が1名、どちらでもよいが1名であった。実施日を早めに広報することで、参加しやすくしていきたい。
- ②参加する団体を増やすために、参加団体へ来年度の先行予約の決定通知を送付する時に、案内を明記しておく。

担当 企画指導専門職 横山 直樹